

# 祐善寺だより

第44号

発行日

2020年7月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

## 新型コロナウイルス感染拡大で教化事業が中止相次ぐ！8月より、ゆっくりと再開！！

世界中を震撼させている新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの「当たり前」の生活が奪われてしまいました。子どもたちの学校も長期休業、外出も自粛要請でいっぺん、ステイホーム、接客を伴うお店にも休業要請がかげられ経済も低迷、医療現場も崩壊寸前。

幸い越前町では感染者は確認されませんでした。社会の状況を受け、当寺の7月末までの教化事業もことごとく中止を余儀なくさせられました。

毎月第一日曜日に開催の同朋会、蓮如上人御忌（六月二十四日）、お斎作り講習会、こども報恩講&納涼祭2020...。特に、今年で十回目を迎える「こども報恩講&納涼祭」は、どのような趣向を凝らすうかと思索しているところでした。

新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いてきたことから、全国に出されている緊急事態宣言も解除され、他府県等への往来も可能となりました。

当寺では、下記の通り感染症防止対策に万全を講じて、8月より教化事業をゆっくりと再開させて頂きますので、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

しかし、まだまだ、油断はできません。皆様、くれぐれもお気を付けてお暮し下さいますように。 合掌

### 当寺の感染症防止対策UNUS

新型コロナウイルス感染症が完全に終息していない今、当寺の教化事業を再開させて頂くにあたり役員会で協議を行い、次のような感染症防止対策を講じて永代経会を厳修させて頂きますので、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- ① 本堂入口、庫裡入口、トイレ入口に手指消毒液を設置する。
- ② 希望者にマスクを用意する。
- ③ 本堂参詣席のイス間を広くあける。
- ④ 法話台の前、参詣席まで2メートルの距離をあける。
- ⑤ 法話時間を短縮するよう、講師に依頼する。
- ⑥ お斎のテーブルを従来の3人掛けから2人掛けにして密接を避ける。
- ⑦ お斎のテーブルを向かい合わせにしない。
- ⑧ お斎は、従来の手作り料理での提供を本年に限って断念し、業者のお弁当とペットボトルのお茶のみの賄いとす。お給仕も遠慮させて頂く。
- ⑨ 参詣者送迎用ワゴンタクシーの配車を行わない。

## 石段改修工事が完工

筆頭総代 上野 三千男

祐善寺は、明治二十四年に小川区より、ここ森区に移築され、参道（石段）も整備され今日まで門信徒の皆様をお迎えした大変貴重な石段です。

昨年十月、移築以来一〇〇年の長年の風雪に耐えてきました参道の石段が、湧水・イノシシが原因で一部が崩落し参詣者に危険な状態が続いてきました。

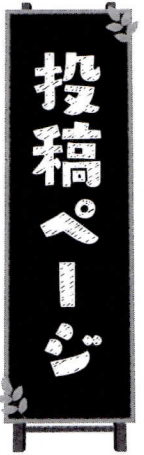
今年の正月、総会でお計りしました通り住職・門信徒の皆様の貴重な浄財で四月から改修工事を行い、この度、完成いたしました。

今後共、お寺の護持につきましまして、ご協力の程お願いし、報告とします。（改修工事の門信徒ご懇志を賜りますならば、有り難く存じます。）



事業費 858,000圓  
請負会社 株式会社 森下組





【新型コロナで学校が長期休業】

(子どもたちから)

小学6年 渡 邊 芯

ぼくは、新型コロナウィルスの影響での長い休校期間がとてひまでした。しかし、学校が始まってから、友人と遊べて今は、とても楽しいです。毎年、楽しみにしていた納涼祭が中止になり、とてもさみしいです。しかも、来年から中学校へ進学するので参加もできなくなってしまうです。とてもあつけないまく切れでしたが、これもしかたないと思います。特にメインイベントだった流しそうめんが無くなってしまったのがとても残念です。

小学4年 松 島 千 春

わたしは、コロナウィルスでいこの家に行ったり、家で本を何さつも読んでいました。晴れている時は、じてん車に乗って、たまやに行ったりもありません。たまやでは、アイスや、いとこといっしょに食べるポテトやジュースを買っています。

それなのですが、雨がふった時は、おばあちゃんの手でいったり、電話をして「今日、家に来ていいよ」と言って、家であそんだりしています。

よくするあそびは、おにごっこやかくれんぼです。やっているのとへとは異なりますが、とてつてもたのしかったです。また、あそびたいです。

小学4年 渡 邊 芽

コロナで学校がお休みの間、友達にも会えないし、遊びにも行けないから、ひまでした。その間に、一人で外で遊んだり自転車に乗っていました。そして、モップがけやまどふきなどのお手伝いをしていました。学校に行けるようになって、勉強したり、友達と遊んだりしてとても楽しいです。

今年、のつりよう祭がないので、流しそうめんやかきごおり、ビンゴゲームなどができないのでざんねんです。来年は、出来ると思います。

孫たちとの三ヶ月の思い出

上 野 笑 子

「もう雪は降らんのやわ、楽な冬で良かったわ。」こんな会話で、二月が終わるうかという頃。中国で、新型コロナウィルスとやらがニューズがテレビ、新聞で報道され始めました。日が経つにつれ、その猛威がりは、全世界に広がることとなりました。

さて、私ごとですが、学校閉鎖期間の三ヶ月、振り返れば、長くもあり、でもちよつと楽しい貴重な経験ができた期間でした。学校閉鎖期間中、外孫も当然のことながら、我が家で見るとありました。

一番下の四歳の孫までも保育園に行けず、多い日では、八人の孫が外出禁止と言つ中で、じいじ・ばあばが見ていました。

「こんな長期孫たちの面倒を見たのは、コロナのせいだ。」と、毎日寝床につくと、嘆いていました。

でも、よくよく考えてたり、「いや待てよ！こんな経験したくてもできないじゃん！」と思うようになりました。

どうせなら、ばあば先生になったつもりで一日のスケジュールを孫たちと朝のミーティング(ちよつとおおげさかな?)で決め、なるべくゲーム漬けにならないよう、そして楽しい一日となるよう話し合いました。振り返れば、軌道に乗ったのは、四月の終わり頃でした。世間では、コロナつとつという言葉が始めた頃かな?でもでも、私は大丈夫!!「こんな経験嬉しいわあ」と思えてきました。願わくば、この八人の孫たちも私と同じ気持ちでいてくれたなら、本当に嬉しい限りです。

学校が再開され、楽しそうに帰ってくる孫の姿を見るのもこれまた嬉しいですね。

◆お念佛川柳

野村 明良

カッとなる 心しずめて お念佛  
(人は皆、カッとなる動物。お念佛唱えて心安らかに)  
先き逝きぬ 君と逢瀬の 寺参り  
(先に逝つた大事な人に逢つようこびを心にだいて)  
お念佛 悪しき心に 中和する  
(悪い心も念佛で中和され、元々の人間にもなれます)

◆川柳

出来んこと 増えたがあるよ

急ぐでネエ 休み休んで

しんダベエ 音

令和2年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互つて護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようよろしくお願ひします。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座  
(〇〇七七〇—九一三〇七二—)

・ 加入者〓祐善寺

へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日



# 花だより

濁らずばなれも仏ぞ  
しゃがの花 来山



何時のことでしたか文芸に関わる資料に目を通していた時、右の句に目が止まりました。最初読んだ時私は、シヤガの花が仏様だなんて一体どういふことだと思つたのです。そしてもう一度読み返して、ようやくなある程と納得したのでした。

「カキクケなどの清音に対してガギグケなどは濁音といい、「濁つた音」ともいふことから、この句を詠まれた「来山」さんは、シヤガの花に向かつてこう語りかけたのだ…と、私はこの句を読み解いたのです。」シヤガの花よ。お前の名を濁らすに発音すれば「シヤカ」となるではないか。そんな訳で、お前は濁らなければ「お釈迦

様」なんだ。勿体ないこつちや。ナンマンタフナンマンタフ…。」  
「だけどな、よく聞けよ。残念ながらお前の名前は「シヤカ」ではなくて「シヤガ」なんだ。口惜しいだろうが、お前は「お釈迦様」でもなければ仏様でもないの。だからな、これからも一生懸命に咲いて、人々の目と心を慰めなさい。そうすればいつの日にかきつとまじつ…。」  
この句を知つてからの私は、シヤガの花を見る度にクスツと笑つたり、頑張れよって声を掛けたくなつたりするのです。ご存知のようにシヤガは、四月から六月頃にかけて杉敷などで白い花を一面に咲かせて私達の目を慰めてくれるあの花です。控えめにひっそりと咲くこのシヤガも、私の大好きな花の一つです。

話は変わりますが私は今年、シヤガの花に係わる事で、とても嬉しいことがあつたので、是非皆さんのお耳に入らせて頂きたいのです。

我が家のお墓は、菩提寺・祐善寺の墓地の隅でお預かり頂いているのですが、「ロノ」にまつわる暗いニュースで埋め尽くされていた今年五月の連休明け、我がご先祖に挨拶させて頂かねばと思つて祐善寺の境内へ入らせて頂いたその時のことです。

見慣れたお御堂の向こう側にある墓地一帯で、数えられないほど沢山沢山の真っ白い蝶の群が、ひらひら、ひらひらと上へ下へ、そしてまた右へ左へと実に優雅な姿で舞い踊つていたのです。普段見慣れた墓地の様子とは明らかに違つていました…。

初めて目にする何とも麗しい光景を前に、私は呆然としていたのです。

綺麗…、有難い…、勿体ない…。ニコニコとして嬉しそうなお先祖さんの顔さえも拝めたような気がしたのでありました。

後で分かつたことですが、これは、有難い仏様が私共門徒のために下さつたお仕事ではなかつたのです。

今、私達の祐善寺の御住職として私共を導いて下さつていらっしゃる御住職が、門徒皆の幸せを願いつつ進めて下さつたお仕事でした。杉敷に咲いているシヤガの花を摘み取つて、墓地にある全てのお墓に心を込めて手向けて下さつたのです。お花立てはどのお墓にも五、六個ありますが、それら全てのお花立てにシヤガの花を…。

かなりの時間を要したことでありまじよう。有難いことです。勿体ないことです。後日、御住職からその話を千ラツとお聞きした私は、こんなに素晴らしいお人柄の御住職にお導きを頂ける門徒としての幸せを、しみみりとそしてまた、強く強く感じたのであります。有難いことです。幸せなことです。

御門徒の皆さん、私達祐善寺の門徒の行く末を見守つて下さる御住職は、誰一人見えていない所でこんなに素晴らしい有難いお仕事を黙つて進めて下さるお人です。有難いことです。感謝の気持ちで一杯です。

『そんなこと言つたつて、オランチの墓は祐善寺の墓地にはないがな。』と言われる方のお気持ちはよく分かります。だけどな、全てのお墓にシヤガの花を供えて下さる御住職の有難いお心は、これからなされるであろう全てのお仕事にしっかりと浸透していくに違いないのです。私はそう信じて疑いません。間違いないはずですよ。

これ程心優しい御住職のことですから、私達門徒がこの世を去らねばならないその時にも、間違ひなく有難い対応をして下さるに違ひないのです。

『この人は極楽行きの人です。極楽ですからお間違ひなく。祐善寺の住職が保証するのですから、これは絶対に間違ひはありません。』つて、あの恐ろしい閻魔大王様に話して下さるに違ひないと、私は堅く堅く信じて疑われないであります。

祐善寺の門徒であつて本当に良かったですね。何しろ、極楽浄土へ案内して頂けるのですから…。ホントホント有難いことです。これから門徒が力を合せて、祐善寺の護持に努めまじようね。



# 投稿ページ

## 【新型コロナ自粛生活から】

### 我が家のコロナ感想

渡邊 千代一

新型コロナウイルス感染が全国的に広がりテレビ、ラジオに毎日トッポで放送されました。

県内でも一時は、大変でしたが現在二ヶ月間位は感染が無いもの全国的には、まだ何十人の人が感染しています。その内で働く人々に頭が下がります。また、派遣社員や飲食店などで働く人々の職を無くしたり、給料の減額、停止など大変です。自分の四人の子ども達の一人も週に二、三日しか働くことが出来なくなり減給しました。家のローン等があり、厳しいみたいです。しかし、反面、外に出られないため、勉強をみてあげたり、料理作りなどして、親子の絆を深めたみたいです。

お陰様で我が家は、若夫婦はコロナとは無関係で毎日仕事に出かけますし、我々、老夫婦は年金暮らしです。未来ある孫達に国からの助成金とプラスして助成してやりたいと思います。盆、祭り、いや来年の正月のいすれかに大盤振舞いしコロナをぶっ飛ばして欲しいと思っています。

ばして欲しいと思っています。

## 暮らし方が変わった

桑原文子

今までの暮らしは、手帳にギッシリと書き込まれた会合や行事、習いごとに追われる日々だった。このような過ごし方が普通であつて充実した日々だと満足していた。が、今は全く違った生活をしている。家の中で過ごす日々が続く、外出はスーパーでの買い物のみである。

時間に追われることが無いってなんと気持ちが良いだろう。自分の時間は、いっぱいある。

日中一つのことが出来れば花丸で、十一時、十二時に寝ていたのが嘘のようだ。早く寝るようになり、前よりは早く起きられるようになった。

「早起きは、三文の得」といわれているが、本当にそうだと実感している。

朝のヒンヤリする空気を吸い込み一日がスタートできる自分に幸せを感じる。

今までの生活を振り返つてみる時間を与えてもらえたこと、こころ穏やかに過ごせる日々を頂けたこと、早起き出来るようになったこと等に（ありがとう）と感謝の気持ちでいっぱい。



## 新社会生活とは

松島 守

今年に入り、予想もしなかったコロナ感染が全世界に広がり、人々の日常生活に制限が設けられるようになった。目に見えないウイルスとの戦いは、防戦しかすべがない現実。ワクチンが開発されるまでは、守りしかない。

核兵器だ、弾道ミサイルだと互いに威圧していたところだが、今回の自然の脅威の前には人類は、平伏すしかない。

普段の当たり前の日常が送れる事の有り難さを感じている方は、沢山いると思いますが当たり前は、当たり前ではないんだと認識した方もいると思います。

早急な医学の進歩を願いつつ、一日も早く人間らしい生活が送れる日が来ることを待ち望んでいます。

## おくやみ

桑原信子様（越前町西田中）には、令和元年十一月二十七日、行年八十八歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前のご功労に、心より深謝申し上げます。



濱本政子様（福井市花月）には、令和二年二月十二日、行年九十八歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前のご功労に、心より深謝申し上げます。



谷口義雄様（福井市松本）には、令和二年二月十四日、行年九十六歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前のご功労に、心より深謝申し上げます。



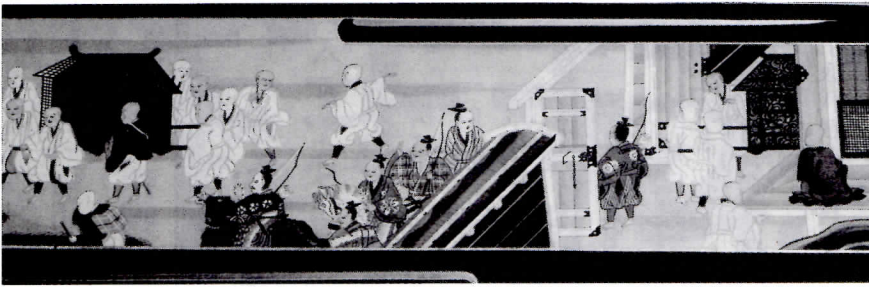
米谷政子様（福井市蒲生町）には、令和二年二月十五日、行年九十九歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前のご功労に、心より深謝申し上げます。



上野博行様（越前町西田中）には、令和二年五月二十四日、行年七十歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前のご功労に、心より深謝申し上げます。







承元元年  
(一一〇七年) 三月、  
親鸞聖人  
は、この法  
難により、  
いよいよ京  
の都を後に  
して、配所  
越後の国府  
へと向かわ  
れました。

この絵図は、三十五歳の親鸞聖人が配所へ向かわれる際の情景が描かれています。  
門内で輿を簾が下してある室内に入れ、室内から親鸞聖人はお輿に乗られた。(図右) その右側、縁側で、聖人とお別れを惜しみ、袖で顔を覆う門弟たち、及び輿の近くにも見送りの門弟が描かれている。  
絵図左に描かれている輿は、聖人が乗られているお輿である。  
多くの門弟たちに見送られて親鸞聖人は、直弟子二人と多くの護衛の人々と共に配所＝流刑地へ赴かれたのであります。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟子西仏房の孫、淨賀法眼に描かせています。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。

(参考文献「親鸞聖人伝繪」「親鸞聖人御絵伝」)



第十三回

親鸞聖人御絵伝

親鸞配流



其の40

仏事  
一口メモ

法事の案内

まず、法事をおつとめする日時をご家族で決めてください。次に、法事の依頼・打ち合わせに寺へ出向きます。住職には次の点を確認します。

① 誰の何回忌の法事か  
② 日時 (二〜三案を用意していくとよい)  
③ 場所 (自宅、寺本堂、お斎(食事)をどこで済ませますか)



参考までに案内状の一案をご紹介します。

拝啓 ○○の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

(故人の思い出話や故人に関わる現在の心境などを述べるとよい)

来る○月○日は、亡き○○、法名釈(尼)○○の○回忌に当たりますので、左記のとおり法要を営みたく存じます。

つきましては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、ご参詣・ご焼香くださいますようお願い申し上げます。

記 合掌

一 日時 ○○○○年○月○日 午前○時

二 場所 自宅(○○寺本堂) ○時までにご参集ください。

なお、法要終了後、○○において、お斎(食事)をご用意しておりますことを申し添えます。

○○○○年○月○日

○○○○様

〈差出人の住所・氏名〉

「仏事ひとくちメモ」(東本願寺真宗会館)より



# お知らせ



## 永代経会

八月七日(金)

十一時半

御齋

一時半 永代経会法要

二時

布教 越前町上野徳永寺前住職

平等明信師

三時半

物故者総墓収骨

永代経会とは、亡き人から願いをかけられて生かさせていたでいる私達が、亡き人を偲び、亡き人に感謝申し上げる法会であります。

このかけがえのない法会に、皆様、お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

今年、1頁に記載の通り、感染防止対策を講じて厳修させていただきますので、ご了承下さいますよう、併せてお願い申し上げます。 合掌

### 令和二年度年忌表

### かけがえのない

### ご先祖様の年忌法要をお勤め下さい！

本年度の年忌は左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等を御確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいますよう、お願いいたします。

- 五十回忌 昭和四十六年没
- 三十三回忌 昭和六十三年没
- 二十五回忌 平成八年没
- 十七回忌 平成十六年没
- 十三回忌 平成二十年没
- 七回忌 平成二十六年没
- 三回忌 平成三十年没
- 一周忌 令和元年没

### ボランティア募集!!

永代経会・お盆を前に

### 寺周辺の草刈り作業を行います！ ご協力下さい!!

と き 七月二十五日(土)

八時三十分集合

持 物 草刈機もしくは鎌、軍手 等

飲み物・昼食 用意します。

傷害保険 加入します。

小 雨 決行します。

炎天下で恐縮ですが、ご協力頂ける方は、七月二十一日(火)までに祐善寺までお電話下さい。

草刈り作業のみならず、草むしり等の作業もありますので、どなたでもご協力いただけます。

皆様、ご協力下さいますよう、どうかよろしくお願い致します。



### 編集後記

★新型コロナウィルスが各界に与えた影響は、極めて大きい。商売が成り立たず廃業に追い込まれた例や収入が激減して家族が住む家さえもなくされた例も少なくないと聞く。

学校教育もまた、例外ではない。春休みや夏休みなどの長期休業の外に、義務教育の学校が全国的に。しかも、長期に亘って休業したのは、我が国の教育制度始まって以来のことであり、その影響は誠に甚大である。

入学式や卒業式が人の心の成長に及ぼす影響は小さくないと思いたいが、それさえも十分な形では出来なかった。何とも残念なことである。

祐善寺が受けた、そして、これから受けるであろう影響もまた、小さくはない。積雪期以外は毎月開かれてきた同朋会は、七月までお休み。寂しい限りである。

八月七日厳修予定の永代経会や十一月の報恩講などもコロナの感染防止対策の為、例年通りの形で進める事は、出来そうにない。残念なことではあるが、門徒同士が助け合い理解し合って、出来る限り有意義な形で進められたらと願うばかりである。

★祐善寺だより第四十四号をお届けします。

これから厳しい暑さが続きます。皆様、ごきげん元気で。

(野村軍一)